



ATA



愛知県トライアスロン協会

一般社団法人 愛知県トライアスロン協会

2020年度 定時社員総会

2021年6月26日（土） 10：00～

フジコミュニティセンター
（名古屋市中村区黄金通一丁目18番地）



◆議長挨拶

◆事務局報告

- ・定足数の確認
- ・議事録署名人の選出

◆審議

- 議題 1 : 2020年度事業報告
- 議題 2 : 同 決算報告
- 議題 3 : 2021年度事業計画（案）
- 議題 4 : 同 予算（案）
- 議題 5 : 役員改選

◆総会資料

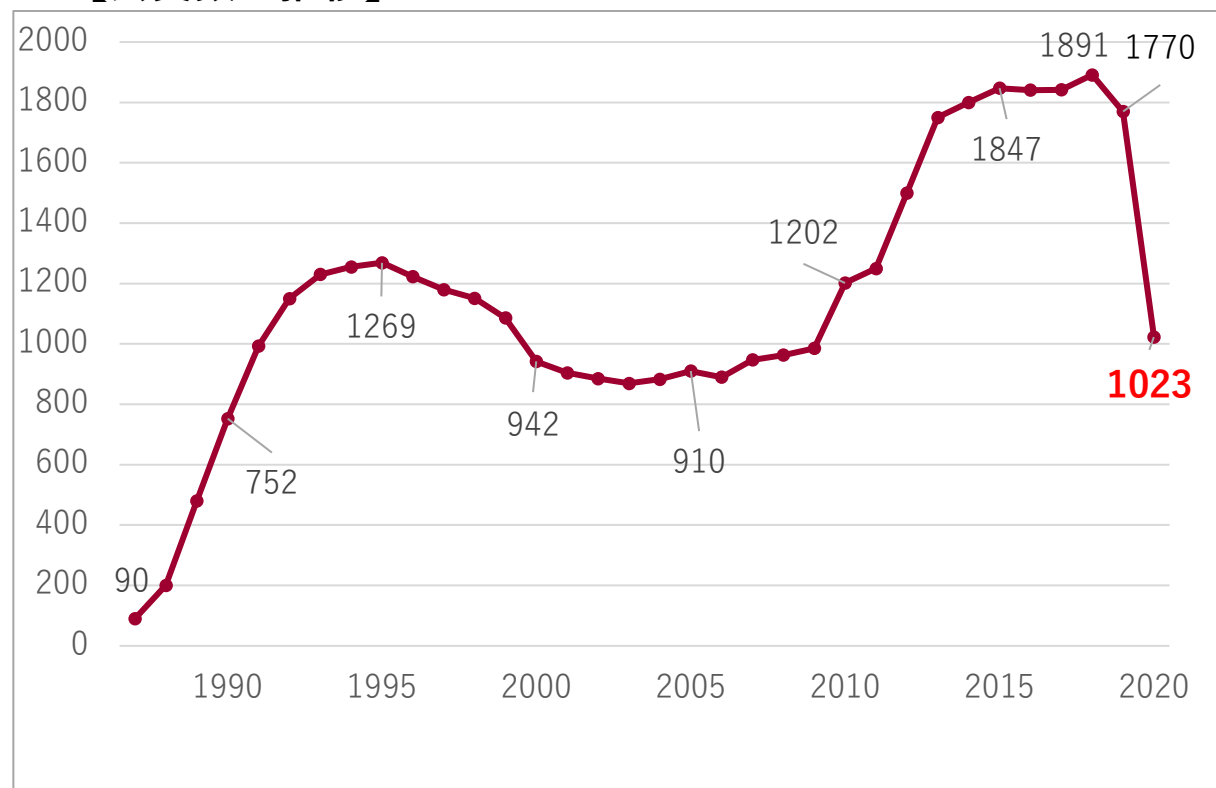
- ・本資料 「2020年度定時社員総会資料」
- ・別紙 1 「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「附属明細書」
- ・別紙 2 「収支予算書（正味財産増減計算書ベース）」
- ・別紙 3 「監査報告書」



◆会員数：3月末現在 1023名（対前年▲747名）

- ・前年度は、会員登録開始がコロナ感染拡大前であったため会員数への影響は限定的であったが、今年度は大きな影響を受けて**対前年▲747名**となった。
- ・その多くは「一般会員」であり、大会開催が不透明な状況の中で会員登録を見合わせている方が多数と推測。

【会員数の推移】



【会員内訳の変化】

会員区分	2018 年度末	2019 年度末	2020 年度末	対前年
ジュニア会員	69名	65名	37名	▲28名
高校生会員	18名	16名	14名	▲2名
一般会員	1,708名	1587名	901名	▲686名
審判会員	96名	102名	71名	▲31名
計	1,891名	1,770名	1,023名	▲747名



◆競技事業

- ・新型コロナによりシーズン前半の5大会は中止を余儀なくされたが、感染状況を見極めながら**大会開催を模索した結果、10月4日に木曽三川公園にて1大会を開催**することができた。
- ・具体的には、日本選手権への出場選手を決定するための「**東海ブロック選手権**」に加え、学生時代という限られた時期での貴重な大会機会を提供するための「**愛知県高校生選手権・中学生選手権**」の同時開催とした。
- ・なお、開催にあたっては、感染拡大防止のためにJTU作成の運用ガイドラインを遵守した。

日時	大会名
6月21日	【中止】 第32回蒲郡オレンジトライアスロン大会
6月28日	【中止】 第21回アクアスロン・スプラッシュ&ダッシュin小野浦
8月 9日	【中止】 アクアスロンinラグーナビーチ2020
8月16日	【中止】 キッズトライアスロンin西尾一色2020（※）
9月13日	【中止】 2020トライアスロン伊良湖大会（※）
10月 4日	・ 2020東海ブロックトライアスロン選手権 ・ 第12回愛知県高校生選手権・第12回愛知県中学生選手権（木曽三川公園）

※印：当協会が運営協力する大会。それ以外は当協会が主催する大会



◆会員の活躍状況

【エリート】

- ・日本選手権（お台場）：8位-林愛望
- ・東海ブロック選手権（長良川）：2位-水野泉之介・2位-林愛望

【ジュニア】

- ・日本U19選手権（長良川）兼 全国高等学校トライアスロン選手権（女子）
2位-林愛望 7位-平泉真心 8位-津田彩乃
- ・日本U15選手権（長良川）
男子：3位-近藤大智 女子：2位-平泉心穂 4位-杉浦華夏
- ・愛知県高校生選手権
男子：1位-高田光 2位-坂上悠基 3位-柴田智哉 女子：1位-林愛望 2位-平泉真心 3位-津田彩乃
- ・愛知県中学生選手権
男子：1位-福島愛都 2位-斉藤大樹 女子：1位-平泉心穂 2位-林彩夢 3位-杉浦華夏

【エイジ】

- ・愛知県選手権
男子：1位-竹内鉄平 2位-加藤幸行 3位-平岩淳 女子：1位-萩原千夏 2位-加藤富紀子 3位-中部直子



◆強化事業

【認定記録会・講習会】

月日	実施内容	参加人数
7月12日	JTU認定記録会	23名：男 17名・女 6名
9月 6日	ドラフティング講習会	9名：男 2名・女 7名
12月13日	バイク測定会	2名：男 1名・女 1名
3月14日	JTU認定記録会	60名：男 38名・女 22名

【ジュニア選手権エントリー費補助】

- ・ジュニア強化選手を対象に選手権エントリー費の一部を補助。
補助額＝105,000円（U19：3名、U15：4名）

【優秀選手表彰】

- ・U15およびU19選手権に入賞した3名を表彰

【2020東京オリンピック・パラリンピック】

- ・あいち強化指定選手に3名が認定。

◆普及事業

【ATAポイントランキング（エイジ・ジュニア）】

- ・対象大会の中止にともないランキング表彰も中止。



◆審判会員数

	人数（新規再掲）	第1種	第2種	第3種
男性	134名（5名）	11名	40名	83名
女性	39名（1名）	2名	9名	28名
計	173名（6名）	13名	49名	111名

◆審判講習会（2月実施）

	第1種	第2種	第3種
更新	4名	8名	7名
新規	1名	2名	5名

◆活動実績

月日	大会名	参加人数
7月12日	JTU認定記録会	6名
10月 4日	東海ブロック選手権	18名
10月17日	アイアンマン知多半島	23名
10月17日	JTU年代別選手権	22名
10月18日	アイアンマン知多半島	24名
10月18日	長良川国際トライアスロン大会	26名
3月14日	JTU認定記録会	5名
	計	のべ124名



対象	対応方針案	実施状況
一般会員	➤ コロナ感染状況をふまえながら、会員交流機会の創出大会開催地への経済協力等に資する練習会やイベントを検討。	➤ コロナ収束が見通せなかったため実施せず。
	➤ ATA年間ポイントランキング表彰については、対象大会の中止により中止。	➤ 同左
強化選手	➤ 競技力・モチベーションの秋開催予定の選手権に向けて、昨年度と同規模の活動（練習会・合宿等）維持に努める。	➤ 合宿はできなかったが、ドラフティング講習会（9月）とバイク測定会（12月）を実施。
審判	➤ 審判活動機会を創出するために、他県大会への参加経費の一部補助を検討。	➤ 他県大会も中止になり、派遣実績なし。
協会	➤ 厳しい収支が見込まれるが、直ちに財務状況が大きく棄損するものでもないため、会員サービス、強化育成、審判要員確保など、事業基盤の維持に必要な支出は継続実施。	➤ 会員数の減と大会中止により収益は半減したが、大会やイベント中止により費用も半減したため、財務状況の棄損はなかった。

◆新型コロナウイルス関連

- ・すべての事業活動において感染拡大防止対策を徹底し、**当協会関連イベントでのコロナ感染実績はなし。**

◆2026年アジア競技大会

- ・実行委員会ははじめ関係機関との調整の結果、**名古屋港ガーデン埠頭にて開催**することで決定。

◆決算報告

- ・会員数の減および大会中止により**収益は約半減の366万円**であったが、大会やイベント中止により**費用も同様に約半減の356万円**となった。
- ・この結果、**正味財産はほぼ同水準の951万円**（対前年+27万円）となった。

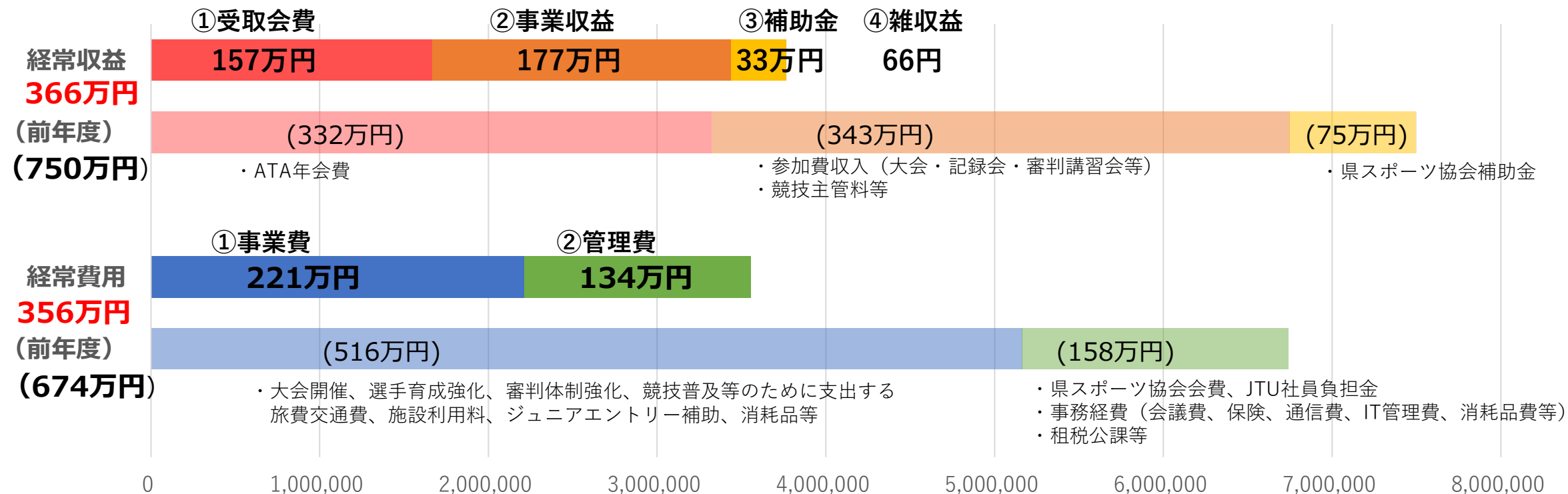
※詳細は別紙 1「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「附属明細書」のとおり。

【正味財産の増減】

(円)

	2019年度	2020年度
資産	10,014,290	9,658,833
負債	781,200	151,000
正味財産	9,233,090	9,507,833

【経常収益・経常費用の概要】





◆大会スケジュール

日時	大会名
6月20日	【中止】 蒲郡オレンジトライアスロン大会
6月27日	アクアスロン・スプラッシュ & ダッシュin小野浦
8月 8日	アクアスロンinラグーナビーチ
9月12日	トライアスロン伊良湖大会（※）
未定	アイアンマン70.3セントレア知多半島ジャパン（※）

※印：当協会が運営協力する大会。それ以外は当協会が主催する大会

◆強化事業

- ・強化練習会および合宿等を開催予定
- ・ジュニア強化選手の選手権エントリー費補助は継続実施
- ・6月7日に木曽三川公園にて開催された東海ブロック選手権の結果に基づき三重国体へ男女各2名＋補欠各1名を派遣予定。

◆普及事業

- ・ATAポイントランキング（エイジ・ジュニア）については、現時点では継続の方向性とするが、大会開催状況をふまえて、実施の可否を判断する。

◆2026アジア競技大会

- ・実行委員会と連携しながら準備を進める。



◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技会

公式審判員 2 名およびField Cast（ボランティア） 7 名を派遣予定。

◆審判講習会

4 / 四半期（1月～3月）において、WEB講習会及び実動の講習会を複数回予定

◆審判員ポイントランキング制度の導入

審判員の参加モチベーションの向上のため、表彰制度を新設するとともに、参加回数に応じてポイントを付与して表彰および審判限定会員登録への資格付与に活用する。

（1）表彰

ア 対象者：①年間ポイントランキングの上位者、②事故等の回避や救助等、現場の功績が大きかった者
（ただし、当協会理事およびJTU第1種公認審判員を除く）

イ 表彰方法：賞状および副賞品の授与

（2）審判限定会員登録への資格付与

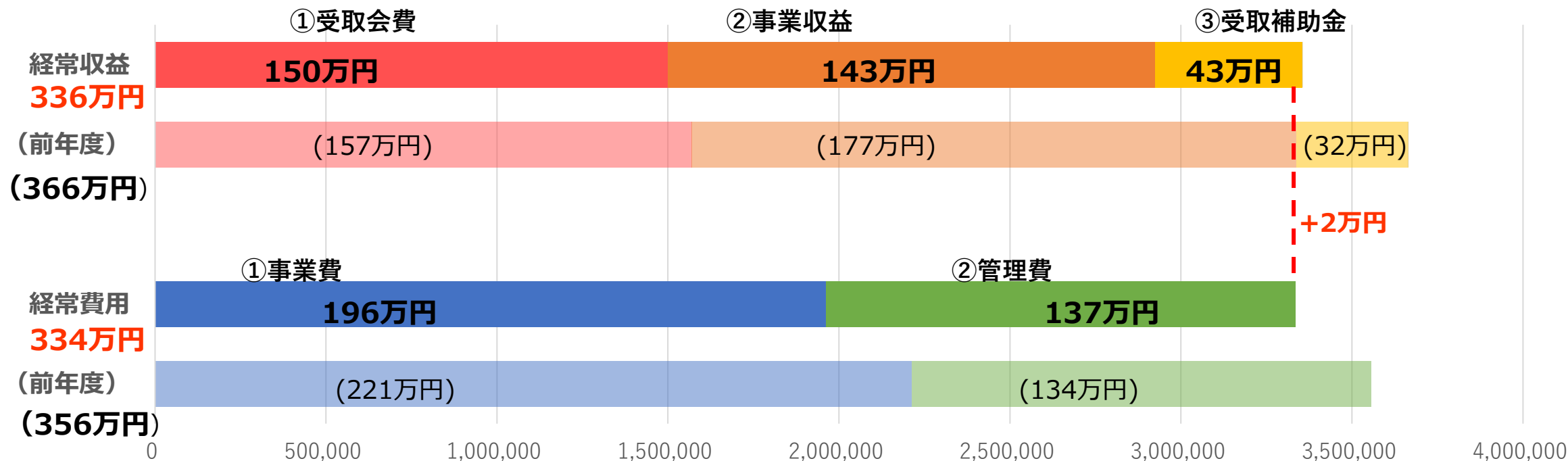
- ・ 2022年度の審判限定会員登録は、2 ポイント（参加大会数＝ポイント数）以上獲得された者を対象とする。
- ・ ただし、今年度の大会開催状況をふまえて適用の可否を判断する。

◆予算案

- ・経常収益：会員数は2020年度と同水準と想定し、大会は小野浦アクアスロン、ラグナシアアクアスロン、伊良湖、アイアンマン知多分を計上。昨年度の東海ブロック選手権の反動減（▲69万円）により、全体では▲30万円減の336万円。
- ・経常費用：事業費については、三重国体関連費用（+40万円）、審判表彰制度（+10万円）を新規計上。昨年度の東海ブロック選手権の反動減（▲70万円）等により、全体では▲30万円減の196万円。管理費については、前年並みの137万円を計上。
- ・収 支：単年度収支は+2万円、正味財産は953万円となる見込み。

【科目別の金額および前年増減比較】

※詳細は別紙 2「収支予算書（正味財産増減計算書ベース）」のとおり





◆役員改選について

- ・ 理事の任期は「選任後2年（定款第25条）」で、今年度が役員改選期。
- ・ 理事の任数は「10名以上30名以内（定款第21条）」で、今回は理事19名のうち2名が退任、4名を新任理事としたい。

現		氏名	新
代表理事	会長	國分 孝雄	重任
理事	副会長	竹内 元一	重任
理事	副会長	中野 誠	退任
理事	理事長	牛島 章博	重任
理事	専務理事	吉田 隆雄	重任
理事	事務局長	齋藤 大輝	重任
理事		酒井 吉信	退任
理事		鈴木 貴里代	副会長
理事		吉川 朋子	重任
理事		福井 英郎	重任
理事		小嶋 俊久	重任
理事		竹内 鉄平	重任

現	氏名	新
理事	星野 喜宣	重任
理事	丹下 祐壮	重任
理事	深井 孝道	重任
理事	因田 良幸	重任
理事	三宅 正彦	重任
理事	鈴木 朗人	重任
理事	市川 圭太	重任
理事	鈴木 正人	新任
理事	鈴木 由美	新任
理事	三上 千草	新任
理事	吉田 美鈴	新任
監事	伊藤 英之	重任